

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

食道癌手術における多職種連携チームによる周術期管理の効果に関する研究

1. 研究の対象

2009年10月1日から2022年10月31日までの間に、当院の消化器外科で食道癌に対する胸腔鏡下食道切除術を受けた方

2. 研究目的・方法

食道癌手術における周術期管理チームによる介入の有用性を検討し、より効果的な介入の方法を検討するために研究を行います。2022年10月までに食道癌手術を受けた患者さんのデータから、周術期管理チームによる管理の効果を分析します。この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用しません。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、血液生化学所見、各種画像検査所見、病理組織学的検査結果、術中術後所見（術後合併症、在院日数）、周術期の体重・骨格筋量、予後等。

試料はありません。

4. 情報の提供先・提供方法

他施設への診療情報等の提供はありません。

